

# 防災分野における男女共同参画の推進

帯広市では、不特定多数の方が避難する体育館のほか、高齢者や障がい者、妊産婦などに配慮した専用スペースや、着替えや授乳時に利用できるパーソナルスペースとしてのテントを確保しています。中長期にわたる避難所生活では、地域住民が主体となって運営していただくこととなります。女性が積極的に参画することで多様な意見が反映され、女性視点の避難所運営が図られます。

## 災害対応

誰もが災害の危険と隣り合わせ！  
命を守るために備えてますか？！



大雨 地震

男女の参画で  
街を守ろう！

地域、防災・環境、その他の分野における「男女共同参画」は国の第5次基本計画の重点分野のひとつです。

## 避難の前に

### ！日頃から準備

- 食料（最低3日分）  
水（1人1日3ℓ）
- 懐中電灯、ラジオ
- 感染症対策用品  
（アルコール消毒液、マスク、体温計 など）

## 避難所では

●性別や年齢に関係なく、可能な限り役割を分担し、より多くの人が避難所の運営に参画出来るよう工夫しましょう。



換気をしよう



うがいをしよう



消毒しよう

密接 密閉 密集

## 避難したら

### ！体調管理は厳重に

- 入る前に体調チェック
- 体調に不安のある方は、避難所の受付時に申し出ましょう。

## 避難所以外の避難先は？

### ！安全が確保できるなら…

- 親戚・知人宅・自宅などの在宅避難
- 車中泊の場合はエコノミークラス症候群などに注意しましょう。

## 避難場所、非常持ち出し品

### 【日頃から準備しよう！ 確認しよう！】

「おびひろ防災ガイド」ではハザードマップのほか、避難所の場所や「非常持ち出し品」のリストなどを紹介しています。



安全・安心な暮らしのために、地域活動や防災にはさまざまな人の意見や男女双方の視点が必要です。